

大学入試での英語4技能試験活用状況

※下記の内容は変更される場合があるため、必ず各自で大学に確認をお願いします。

大学	入試形式	概要	英検	GTEC	IELTS	TEAP	TOEFL	TOEIC S&W
筑波大学	推薦入試	人文・文化学群、社会・国際学群、人間学群、生命環境学群、理工学群、情報学群、医学群にて導入 ※一部学類除く	●	●	●	●	●	
	一般入試	人文・文化学群、社会・国際学群、人間学群、生命環境学群、理工学群、情報学群、医学群、体育専門学群、芸術専門学群にて導入	●	●	●	●	●	
お茶の水女子大学	フンボルト入試(AO)	文系学部に関して2018年度より、英語外部資格の提出が必要となる。出願条件に変わるため今後要注意。	●	●	●	●	●	●
一橋大学	推薦入試	グローバル社会において独自性をもって活躍できる人材の育成を促進するため、一定の基礎学力を備えつつ特定領域で高度な知的訓練を積み重ね、その才能を発揮してきた多様な背景をもつ学生に対し、推薦入試を全学部50名募集で実施することとしました。外部英語資格では 実用英語技能検定(英検)1級、TOEFLスコア((iBT)93点以上、(CBT)237点以上、(PBT)580点以上)又はIELTSスコア(6.5以上)を取得している場合、出願可能となる。センター試験は課す。	●		●		●	
横浜国立大学	AO入試	GBEEP:正式名称は :Global Business and Economics 教育プログラム。経済学部と経営学部が共同で実施する教育プログラムで、以下のような特徴がある。①経済学と経営学2つの学問領域を学習する。②英語によ授業や海外学修の履修が課される。③卒業に必要な単位数は 132 単位以上で、通常のプログラム(124単位)よりも多い。なお、同プログラムへ入学可能な試験は、経済部(AO入試、外国学校出身者入試、YGEP-N1)、経営学部(AO入試、帰国生徒入試、YGEP-N1)。	●		●		●	●
首都大学東京	AO入試	本学では、国際社会で活躍する意欲のある者を募集するAO入試(グローバル人材育成入試)を実施し、国際社会の第一線でリーダーシップを発揮して活躍できるグローバルリーダーの育成に取り組む。募集人数は、学部学科合わせて25人。	●	●	●		●	
青山学院大学	一般入学試験 自己推薦入学試験等	文学部英米文学科、総合文化政策学部、地球社会共生学部で、2016年度一般入学試験、自己推薦入学試験等でTEAP(アカデミック英語能力判定試験)を出願資格として採用。学部によっては、TEAP(アカデミック英語能力判定試験)以外の外部英語資格を認める予定。				●		
	一般入試B方式 (経営学部C方式)	一般入試B方式において、経済学部(経済学科、現代経済デザイン学科)、および経営学部C方式(経営学科、マーケティング学科)の出願資格として外部の英語資格・検定試験を利用。 一般入試B方式において、国際政治経済学部の出願資格として外部の英語資格・検定試験を利用。	●		●	●		●
亜細亜大学	グローバル人材育成入試	国際社会への強い関心を持ち、将来、アジア太平洋地域を中心に、世界を舞台としてアクティブに活躍する「グローバル人材」となることを強く願っている学生を求める。出願の必須条件として、調査書の英語の評定平均値が4.0以上であること、英語資格・スコアの基準を満たすこと。	●	●			●	●
	公募推薦入試	選抜方法として、英語資格・スコアの基準を満たす者は英語を免除し、国語(45分)のみ。	●	●			●	●
学習院大学	公募制推薦入試	経済学部(経済学科・経営学科)では、英語の外部資格試験を活用した「公募制推薦入試」を導入。経済学科では、「全体の評定平均値が3.8以上で、かつ数Ⅰ、数Ⅱ、数Aの評定平均値が4.0以上」であること、経営学科では、「全体の評定平均値が4.0以上で、かつ数Ⅰ、数Ⅱ、数Aの評定平均値が3.8以上」であることが条件。	●	●	●	●	●	●
	一般入試	国際社会科学部では、外部の英語資格・検定試験(4技能)を活用した「B方式」を導入。英語の筆記試験に代えて、外部の英語資格・検定試験(4技能)の成績を得点換算し、他の2科目(国語および地歴公民数学(地理は除く))の筆記試験との合計点数により、合否を決定。	●	●	●	●	●	●
国際基督教大学	一般入試B方式	1.英語(IELTSまたはTOEFLの公式スコア)合格最低点は「IELTS 6.5以上、TOEFL iBT 79(PBT 550)以上」。2.総合教養 3.個別面談で最終合否。倍率は2倍程度で推移している。			●		●	
駒澤大学	一般推薦入試 B方式	グローバル・メディア・スタディーズ学部の共通出願資格。	●	●	●	●	●	●
芝浦工業大学	一般入試(英語資格検定試験利用方式)	英語資格・検定試験のスコアが基準値以上の者を対象。「数学」「理科」のみで合否判定。	●	●	●	●	●	●
上智大学	一般入試(TEAP利用型)	TEAPの受験回数に制限はなく、年複数回実施される試験のいずれかで各学科の基準スコアを満たせば出願が可能。TEAPのスコアは出願に必要な要件となるが、スコアそのものは合否に影響しない。試験日当日には英語の試験を行わず、志願者は学科の指定する選択科目のみ受験。合否判定はこの選択科目のスコア及び調査書等の書類により行われる(二次試験を行う学科は除く)。				●		
専修大学	一般入試	指定された英語外部試験のスコアを出願時申告。基準スコアに応じて、試験科目「英語」の得点を80点または100点に換算。	●	●	●	●	●	●
中央大学	一般入試(英語外部検定試験利用型)	経済学部、文学部、総合政策学部において、英語の外部検定試験を活用した入試を実施。例えば総合政策学部の場合、一般入試の「英語」を免除し、合否判定は「国語(国語総合[漢文を除く])」の1教科の得点で行う。	●	●	●	●	●	●
津田塾大学 総合政策学部	AO入試	「総合政策学部」を設置します。他者との間で合意を形成し共通のルールをつくりだすことのできる実践的な英語力が重視される。英語の能力を証明する書類が出願条件の一つ。	●	●	●	●	●	●
東京女子大学	一般入学試験(英語外部検定試験利用型)	「一般入学試験(英語外部検定試験利用型)」を「一般入学試験(3教科型)」(旧:「一般入学試験」と同日に実施。指定された英語外部検定試験で一定の成績を修めていれば、一般入学試験(3教科型)の「外国語(英語)」科目を除く2科目(文科系学科は「国語」「地理歴史または数学」、数理科学科は「数学A」「数学Ⅱまたは理科」)で受験可能。	●			●		
	知のかけはし入試	「知のかけはし入学試験」は、得られた知識を十分に活用し、社会に貢献できる将来のリーダーとなり得る人材を求めため入試で、入学者が知性的かつ行動的な女性として成長し、将来の活躍の場、中でも海を渡り異文化の世界へと羽ばたくための「かけはし」である。出願に際して、外部英語資格試験のスコアの提出が条件の一つ。	●	●	●	●	●	●
東京理科大学	一般入試(グローバル方式入試)	2018年度より、グローバル方式入学試験(英語の資格・検定試験利用)を全学的(理学部第二部を除く)開始。英語の資格・検定試験のスコア・級に応じた加点(20点)と大学独自試験(数学・理科)(300点)の計320点満点で判定。	●	●	●	●	●	●
東洋大学	一般入試前期日程	経営学部を除き全学部にて実施。基準スコアに応じ、英語試験の得点を70～100点とみなす。(英語試験を受験し、得点の高いほうを合否判定に採用することも可能)	●	●	●	●		
	センター試験方式(外部試験利用)	経済学部、国際地域学部のセンター試験方式において、英語の外部検定試験を活用した入試を実施。例えば国際地域学部では、大学入試センター試験の「外国語」を「英語」満点に換算し、合否判定を行う。	●	●	●		●	●

大学入試での英語4技能試験活用状況

※下記の内容は変更される場合があるため、必ず各自で大学に確認をお願いします。

大 学	入試形式	概要	英検	GTEC	IELTS	TEAP	TOEFL	TOEIC S&W	
獨協大学	一般入試A方式 (外部検定試験活用型)	出願時点で、各学科が指定する出願基準以上の英語の外部検定試験資格・スコアを保持している場合は、本学が課す「英語」試験を免除し、各学科が指定する2 教科(国語および選択科目)で可否を判定。	●	●	●	●	●	●	
日本女子大学 文学部－英文学科	自己推薦入試	英語外部試験資格・スコアの基準を満たすことが必要な出願条件。	●		●		●		
日本体育大学	推薦入試	グローバル化進展の中で、国際共通語である英語力(聞く、読む、話す、書くは勿論のこと、語らい、表現力を基本としたよりアカデミックな能力)を兼ね備え、教育を受けるにふさわしい学力と社会的使命感をもつ者を本学部へ誘うことを期待する。	●	●	●	●	●	●	
法政大学	一般入試 (英語外部検定試験利用型)	英語外部試験利用入試は、全15学部のうち、人間環境・現代福祉・GIS(グローバル教養)・スポーツ健康・情報科・生命科の6学部の全学科で実施。各学科が定める基準以上のスコアがある受験生を対象とし、学科が指定する1科目(文系学部は国語か数学、理系学部は数学)の点数だけで可否を判定。英語の受験は必要なし。基準となるスコアは、学部によって異なり、提出した英語外部試験成績による加点はなし。T日程(統一日程)入試との併願も可能だが、その場合はT日程入試で英語を受験する必要がある。	●		●		●	●	
明治大学	一般入試 (国際日本学部)	英語資格・検定試験において、基準となる条件を満たしていることが証明できる場合は、試験科目「外国語」(配点:200点)の得点を満点に換算。満点換算の申請を行った受験生は、入試当日「外国語」の試験のみ免除。	●	●	●	●	●	●	
	グローバル型特別入学試験	政治経済学部で推薦入試を実施。「総合」の試験と「面接」、及び提出された語学試験の結果等を総合的に勘案し、可否判定。なお「総合」では、与えられた資料(評論、随筆、グラフ、表、データなど)をもとに、日本語で解答・記述する総合問題が出題される。	●	●	●	●	●	●	
	商学部公募制特別入学試験	TOEFL利用を導入。今後のさらなる国際化に伴い、ビジネスパーソンとなるための学習に強く求められる海外での留学経験による研鑽を積み一定の英語運用能力をすでに身につけ、入学後に必要となる国語力や社会科学、人文科学、自然科学の基礎的な事柄を身に付けた者を対象とする。大学入試センター試験の総合点にTOEFL iBTテストスコアを加味して可否判定を行う。					●		
	一般入試 (経営学部)	経営学部の一般選抜入試の一部において英語資格・検定試験を活用する「英語4技能試験活用方式」の試験を実施。出願時にスコアの証明書類を提出することによって一般選抜入試の「外国語」の試験を免除。スコアに応じた得点を「国語」、「地理歴史、公民、数学」の2科目の合計得点に加算し、総合点で可否を判定。	●		●	●	●	●	
明治学院大学	一般入試(全学部日程)	全学部日程に英語外部検定試験を利用した入学試験を実施。基準スコアをクリアした受験生は、英語の試験を受験する必要がなく、「国語」、「地歴公民・数学」の2教科のみで受験することができる。	●	●		●			
立教大学	自由選抜入試	異文化コミュニケーション学部では、出願資格を満たす英語資格・検定試験のスコア・級の基準を変更。	●	●	●	●	●	●	
		理学部・法学部・観光学部・現代心理学部では、第2次選考日(筆記試験・面接)における英語科目の筆記試験を取り止め、学部が定める英語資格・検定試験のスコア・級を提出することで出願資格を認める方式に変更。	●	●	●	●	●	●	●
		コミュニティ福祉学部では、第2次選考日(筆記試験・面接)における英語科目の筆記試験を取り止め、学部が定める英語資格・検定試験のスコア・級を提出することで出願資格を認める方式に変更。	●	●	●	●	●	●	●
		経営学部では、出願資格【方式A:資格Ⅰ】および【方式A:資格Ⅱ】については経営学科のみの出願資格。	●	●	●	●	●	●	●
	一般入試 (グローバル方式)	「グローバル方式」では、英語資格・検定試験のスコア等を出願資格として活用し、試験当日には英語以外の2教科を実施。	●	●	●	●	●	●	●
国際コース選抜入試	リベラルアーツ教育を基盤とし、英語による授業科目のみで学士の学位を取得できる、既存の10学部のカリキュラムから独立した全く新しいプログラム。教育体系・手法の抜本的な国際標準化を行う。プログラムには1年間の海外留学が組み込まれており、留学前にはチュートリアル教育を行い、また外国人留学生と一緒に寮で生活します。	●	●	●	●	●	●	●	
早稲田大学	文学部一般入試 (英語4 技能テスト利用型)	英語4技能テスト(TEAP、IELTS、英検、TOEFL(iBT))のいずれかにおいて基準点・基準級を上回っている者について、学部一般入試の国語・地歴2教科の合計得点により判定。	●		●	●	●	●	
	文化構想学部一般入試 (英語4 技能テスト利用型)	英語4技能テスト(TEAP、IELTS、英検、TOEFL(iBT))のいずれかにおいて基準点・基準級を上回っている者について、学部一般入試の国語・地歴2教科の合計得点により判定。	●		●	●	●	●	
	文化構想学部(推薦)入試 国際日本文化論プログラム	文化構想学部では2017年度より、日本文化を世界的な視野のもとに学び、かつその成果を広く世界に向けて発信できる人材の育成を目指し、英語学位プログラムGlobal Studies in Japanese Cultures Program (国際日本文化論プログラム)を新設します。英語能力試験として利用できるものは、TEAP、IELTS、英検、TOEFL(iBT)とする。	●		●	●	●	●	
	人間科学部FACT入試	Waseda Vision 150における入試改革の一環として、従来型の入試制度とは異なる観点から、人間科学部での学融合的な学びに高い適性を持つ学生を、広く迎え入れる公募制推薦入試を導入。世界の学問的知見に触れ、また異なる文化、異なる価値観と接するために、高校生としての基礎的な外国語能力を、第三者機関が実施する外国語資格・検定試験の結果により評価します。出願書類の一つとして提出。	●	●	●		●	●	
	国際教養学部一般入試	国際教養学部では、2018年度一般入学試験より、「英語4技能試験」の結果を利用できる新たな制度を実施。当学部では英語が共通言語であり、一年間の海外留学が必須。試験の得点に、英検もしくはTOEFL iBTの評価を加算して、可否を判定	●				●		